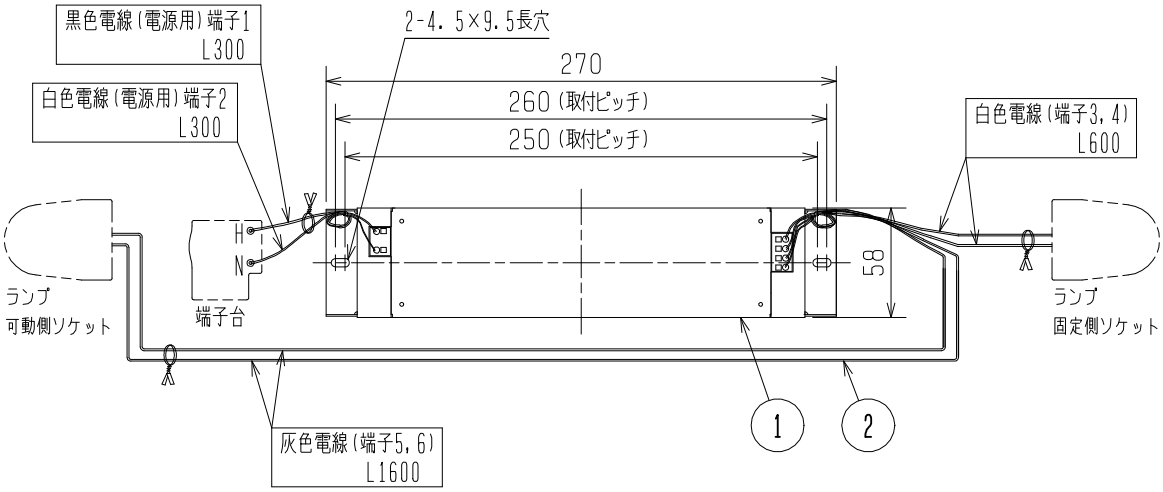
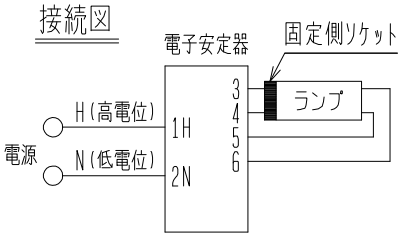
MITSUBISHI



定格表

定格電圧	100-254V		
周波数	50/60Hz		
適合ランプ	FHF32	FLR40S	FLR40S/36
入力電流	0.350A-0.140A	0.320A-0.130A	0.295A-0.120A
消費電力	35W-34W	32W-31W	29.5W-28.5W
力率	高力率		

接続図



使用に関するご注意

1. 照明器具の周囲温度は5~35℃の範囲でご使用ください。
2. このリニューアルユニットはインバータを使用している為、電力線搬送を使用した機器と電源を共有すると、電力線搬送機器が正常に作動しない場合があります。
3. 赤外線リモコン方式のテレビ・ラジオなどは、照明器具から離してご使用ください。(雑音が入ったり、正常に作動しない場合があります)
4. 受信電波が弱い場合には、AMおよび短波放送では雑音が入る場合があります。
5. 器具の近くでワイヤレスマイクを使用すると、雑音が入り正常に作動しない場合があります。
6. 放送設備などの音声信号や映像信号は微弱なため、電源線や安定器の配線からの雑音を受けることがあります。
7. 人体に影響がある高レベルの放射線が照射される特殊環境下では、使用しないでください。放射線によりインバータに使用している半導体などの電子部品が故障するおそれがあります。
8. 端子3,4側のランプ線長を最短にすることで漏洩電流が低減します。
   (リード線は隠蔽器具仕様で長めに設定しています)
9. ソケット隠蔽形器具では、端子3,4側に固定ソケット、端子5,6側に可動ソケットをご使用下さい。
10. 電線は二重被覆電線を使用しています。
    1次側 φ1.0 被覆外径φ3.2mm以下
    2次側 φ0.8 被覆外径φ3.0mm以下
11. 接続する電気部品の仕様をご確認ください。
12. 別紙の説明書を必ずお読みください。

⚠ 安全に関するご注意

1. 一般屋内に取付けられた当社器具内専用ですので、屋外や水気、湿気のある所に取付けられた器具では使用しないでください。火災・感電の原因となります。
2. 断熱材、防音材をかぶせている場合には使用しないでください。火災・感電の原因となります。
3. インバータの取付けは出っ張りのない平坦部に付属のネジ・ナット(2個)で固定してください。火災・感電の原因となります。
4. インバータを改造したり、ケースを開けたりしないでください。故障の原因となります。
5. 表示された電源電圧(定格電圧±6%)・周波数以外の電源で使用しないでください。火災・感電の原因となります。
6. 既設器具に接地工事がされていない場合は、電気技術基準に準じて、D種(第3種)接地工事を確実に行なってください。感電の原因となります。
7. 電源及びインバータのアース線は確実に実施してください。火災・感電の原因となります。
8. 活線作業はしないでください。感電の原因となります。
9. 接続はインバータ銘板取扱説明書の接続図に従い行なってください。火災・感電の原因となります。
10. リード線を金属部分のエッジに押し付けたり、反射板で挟んだりしないでください。地絡による、火災・感電の原因となります。
11. リード線を持って運んだり、各部品のリード線接続部に張力を加えないでください。断線や接触不良による、火災・感電の原因となります。

詳細説明書
・ミニインバータ リニューアルユニット説明書 :EY18068,EY18069
・適合器具形名一覧 :EY18063~EY18065
・安全チェックシート :EY18066~EY18067

部番	品名	材質・材厚	数	備考
8				
7				
6	ランプシール		1	(同梱)
5	工事記録シール		1	(同梱)
4	ネジ	PMツメツキバインド 4×8	2	安定器取付用 (同梱)
3	ナット	ハツキサカガネ M4	2	安定器取付用 (同梱)
2	リード線		1式	二重被覆電線
1	電子安定器		1	1灯用

検認 / 臼井 / 照査 / 諏訪 / 設計・改定 / 濱田

32W/40W×1灯用
ミニインバータ リニューアルユニット

形名	EBU4111 VPN	
点灯方式	電子回路式	
定格・電圧	V	100~254V
定格	PN	定格出力32W形 出力固定形
周波数	50/60 Hz	
適合ランプ	Hf	FHF32 FLR40S(EX) FLR40S(EX)/36
W.数	32W/40W×1灯	
図番	EY18047-B	

0902 CA

単位 mm 第3角法

三菱電機照明株式会社

MITSUBISHI

《施工者さまへ》

1．安定器(ユニット)交換の工事には電気工事士の資格が必要です。
また、照明器具製造・組立のノウハウが必要です。

2．安定器交換工事の際には、必ず適合診断を実施し、適合性を確認してから施工してください。

〈適合診断〉

①安全チェックシート（別紙）にて、既存器具の状態を確認してください。

②各種配線、ランプソケット、電源端子等の電気部品の劣化がないかを確認します。

⚠ 安全に関するご注意
●照明器具には寿命があります。 ●設置して8～10年経つと、外観に異常がなくても内部の劣化が進行しています。点検・交換をおすすめします。 ※使用条件は周囲温度30℃、1日10時間点灯、年間3000時間点灯。(JIS C 8105-1 解説による。) ●周囲温度が高い場合、点灯時間が長い場合は、寿命が短くなります。 ●1年に1回は、「安全チェックシート」により、自主点検してください。 ●3年に1回は、工事店等の専門家による点検をお受けください。 ●点検せずに長期間使い続けると、まれに、発煙、発火、感電などに至る恐れがあります。

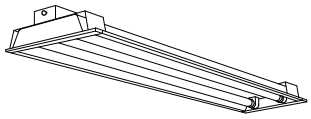
③既存器具のソケット定格電圧が300V以上であることを確認してください。

④非常用器具ではないことを確認してください。
非常用器具の評定は、メーカ指定の部品との組合わせにて実施された性能確認（機械性能・電気性能・光特性など）に基づき行なわれています。
その性能を確保するために、器具ごと交換が必要です。
⑤下記タイプの器具は、リニューアル対応可能です。
器具の詳細形名は、形名一覧（別紙）をご参照ください。

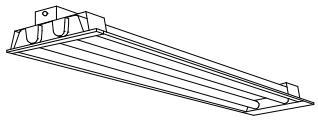
その他タイプの器具は、既存安定器から電子安定器をリニューアルしても問題ないか確認が必要です。(温度・ノイズ等)
ご相談ください。

〈器具形状〉

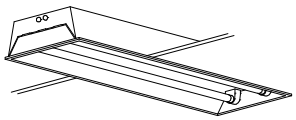
A-1. 下面開放形器具 （1本竿タイプ） ソケット露出



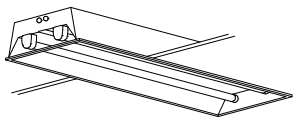
A-2. 下面開放形器具 （1本竿タイプ） ソケット隠蔽



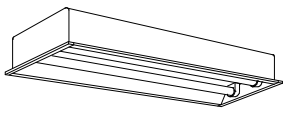
B-1. 下面開放形器具 （全ケースタイプ）ソケット露出



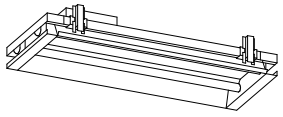
B-2. 下面開放形器具 （全ケースタイプ）ソケット隠蔽



C. ファインベース埋込形



D. ファインベース埋込形 システム天井用(安定器ボックスタイプ)



⚠ 安全に関するご注意
安定器寿命期においては、器具本体・器具内配線・ソケット等も劣化が進んでおり、安全面から器具毎交換を実施する必要があります。 省エネなどの目的でやむを得ず安定器のみ交換する場合は、照明器具の安全及び品質を維持する上で注意が必要です。 照明器具製造業者は器具(安定器内蔵)としてその性能を確認しており、販売後の改造(安定器交換など)については保証していません。 改造後の事故、不具合については改造・使用者側で対処していただきますようお願い致します。 販売後、使用者側で改造することに特に規制はありませんが、事前に充分検討を行い交換を実施する必要があります。

検認
臼井
照査
諏訪
設計・改定
濱田

形名	ミニインバータ リニューアルユニット 説明書 1/2
図番	EY18068-B

0902 CA

単位 mm 第3角法

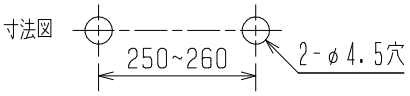
三菱電機照明株式会社

MITSUBISHI

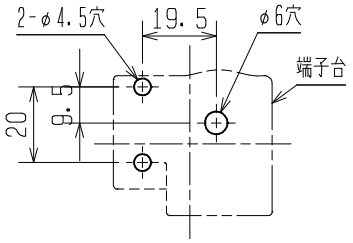
《リニューアルキット交換前の確認事項》

1．周辺機器の確認を行なってください。
・屋内配線ケーブルなどの劣化がないことをご確認ください。
・入力電流や消費電力が変わりますので、ブレーカー容量などを確認ください。
・インバータ器具は、従来のラピッド式照明器具より高周波の漏洩電流が大きくなります。
このため、旧タイプの漏洩ブレーカーではトリップする場合がありますので、高周波対応型漏洩ブレーカーをご使用ください。

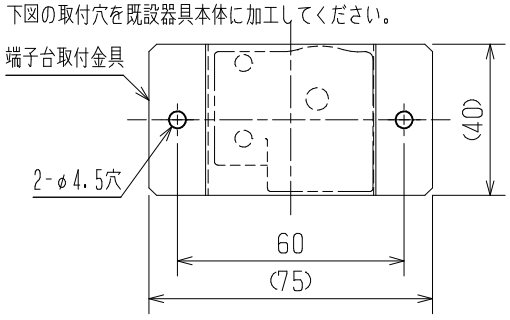
2．安定器取付のための本体下穴加工
既設器具の安定器と、交換する安定器の取付穴間隔が異なる場合、新しい安定器用に、下図の取付穴を既設器具本体に加工してください。



3．端子台付の場合のための本体下穴加工
①端子台専用の穴があいている場合
下図の3つの穴が本体に加工されている場合は、
端子台取付け金具を外し、端子台取付け金具に固定されている
M4×14ネジにて本体に端子台を固定してください。

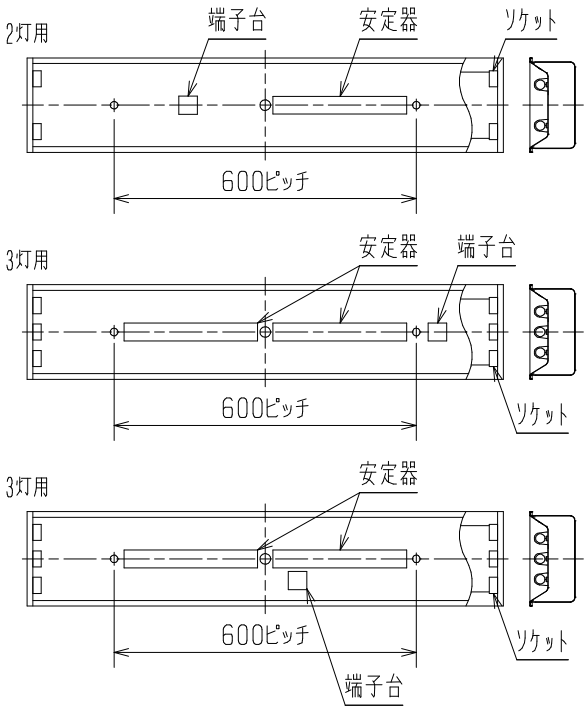


②端子台取付け金具用の穴をあける場合
下図の取付穴を既設器具本体に加工してください。

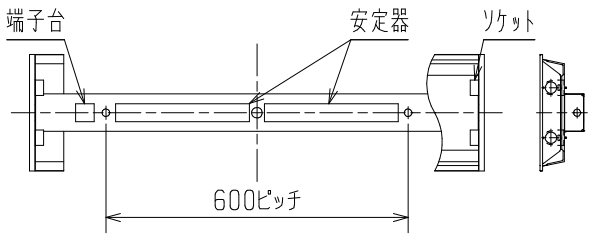


〈器具形状と部品配置例〉

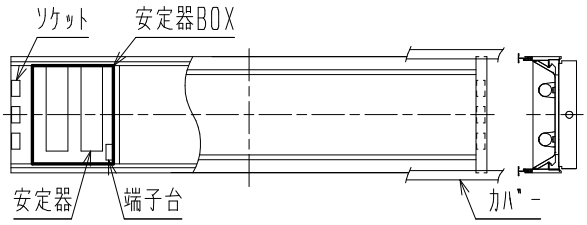
A．ファインベース埋込形



B．下面開放形器具



C．ファインベース埋込形 システム天井用(安定器ボックスタイプ)



《交換作業要領及び注意事項》

1．必ず電源を切ってから作業を行ってください。
2．不要になった電気部品は、撤去してください。(リード線、ネジ、パッキン等)
3．配線の接続は、必ず 抜け、挟み込みの確認をしてください。
4．電源線とランプリード線は極力離して配線してください。
5．電源線、リード線は長めで出荷していますので、余分はカットして配線してください。
6．交換作業完了後、ランプを接続した状態で絶縁の確認をしてください。
7．誤って落下させた電子安定器は使用しないでください。
8．電源線の接続部にはストレスを加えないでください。
9．「工事記録シール」は工事施工者、施工年月を必ず記入し、貼り付けてください。
10．「ランプシール」は反射板に貼り付けてください。

検認
臼井
照査
諏訪
設計・改定
濱田

形名	ミニインバータ リニューアルユニット 説明書 2/2
図番	EY18069-B

0902 CA

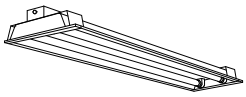
単位 mm 第3角法

MITSUBISHI

⚠ 安全に関するご注意

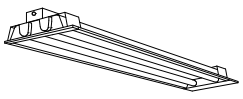
- 照明器具には寿命があります。
- 設置して8～10年経つと、外観に異常がなくても内部の劣化が進行しています。点検・交換をおすすめします。
  ※使用条件は周囲温度30℃、1日10時間点灯、年間3000時間点灯。(JIS C 8105-1 解説による。)
- 周囲温度が高い場合、点灯時間が長い場合は、寿命が短くなります。
- 1年に1回は、「安全チェックシート」により、自主点検してください。
- 3年に1回は、工事店等の専門家による点検をお受けください。
- 点検せずに長期間使い続けると、まれに、発煙、発火、感電などに至る恐れがあります。

埋込下面開放器具(一本竿タイプ)ラピッドスタートタイプ ソケット露出



生産年		1975年～			1985年～		
1灯用	基本形	FB4621S (K4801SR)	FB4801SR (K4801SR)		FB4221 (K4321)		
	連続取付け 先端		FB4671SR (K4801SR)				
	中間		FB4681SR (K4801SR)				
	終端		FB4691SR (K4801SR)				
	(端板着脱式)先端	FB4641S (K4801SR)					
2灯用	埋込穴 幅240				FB4252 (K4322)		
	端板着脱式				FB4112 (K4342)		
	埋込穴 幅300	FB4622S (K4802SR)	FB4822SR (K4832SR)		FB4222 (K4322)	FB45022 (K4332)	
	プルスイッチ付き	FB4822SR PL (K4832SRPL)			FB4232 (K4332)	FB45022 (K4332)	
	連続取付け 先端	FB4642SR (K4802SR)	FB4672SR (K4802SR)	FB4872SR (K4832SR)	FB4272 (K4322)	FB4372 (K4322)	FB45042 (K4322)
	中間	FB4682SR (K4802SR)	FB4882SR (K4832SR)		FB4282 (K4322)	FB4382 (K4322)	FB45052 (K4322)
	終端	FB4692SR (K4802SR)	FB4892SR (K4832SR)		FB4292 (K4322)	FB4392 (K4322)	FB45062 (K4322)
	(端板着脱式)先端	FB4842SR (K4832SR)			FB4242 (K4322)	FB4342 (K4322)	FB45102 (K4322)
3灯用	基本形	FB4623S (K4803S)	FB4823SR (K4833SR)		FB4123 (K4423)	FB4223 (K4323)	FB45003 (K4323)
	連続取付け 先端	FB4873SR (K4833)			FB4273 (K4323)	FB4373 (K4323)	FB45043 (K4323)
	中間	FB4883SR (K4833)			FB4283 (K4323)	FB4383 (K4323)	FB45053 (K4323)
	終端	FB4893SR (K4833)			FB4293 (K4323)	FB4393 (K4323)	FB45063 (K4323)

埋込下面開放器具(一本竿タイプ)ラピッドスタートタイプ ソケット隠蔽



生産年		1975年～			1985年～		
1灯用	基本形	FB4651S (K4801SR)	FB4831S (K4801SR)		FB4321 (K4321)		
2灯用	基本形	FB4652S (K4802SR)	FB4852SR (K4802SR)		FB4322 (K4322)		
	プルスイッチ付き	FB4852SR PL (K4802SRPL)			FB4332 (K4332)		
3灯用	基本形	FB4653S (K4803SR)	FB4853SR (K4833SR)		FB4423 (K4423)	FB4323 (K4323)	

※15年以上、または累積点灯時間が40，000時間以上であるものは劣化がすすんでいます。
事故防止のために新しい照明器具にお取り替えください。

検認	臼井	照査	諏訪	設計・改定	濱田

形名	ミニインバータ リニューアルユニット 形名一覧 1/3
図番	EY18063-B

0902 CA

単位 mm 第3角法

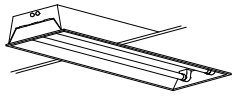
三菱電機照明株式会社

MITSUBISHI

⚠ 安全に関するご注意

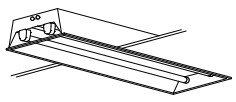
- 照明器具には寿命があります。
- 設置して8～10年経つと、外観に異常がなくても内部の劣化が進行しています。点検・交換をおすすめします。
  ※使用条件は周囲温度30℃、1日10時間点灯、年間3000時間点灯。(JIS C 8105-1 解説による。)
- 周囲温度が高い場合、点灯時間が長い場合は、寿命が短くなります。
- 1年に1回は、「安全チェックシート」により、自主点検してください。
- 3年に1回は、工事店等の専門家による点検をお受けください。
- 点検せずに長期間使い続けると、まれに、発煙、発火、感電などに至る恐れがあります。

全ケース ラピッドスタートタイプ ソケット露出



生産年		1975年～			1985年～		
1灯用	基本形	FB4631SR (K4811SR)	FB4921SR (K4941SR)		FB4121 (K4421)	FB4911 (K4441)	
2灯用	基本形	FB4632SR (K4812SR)	FB4922SR (K4942SR)		FB4122 (K4422)	FB4912 (K4442)	FB45012 (K4442)
	ブルスイッチ付き				FB4152 (K4432)	FB4902 (K4452)	FB45032 (K4452)
	連続取付け 先端				FB4962 (K4442)	FB45072 (K4442)	FB45512 (K4842)
	中間				FB4972 (K4442)	FB45082 (K4442)	FB45522 (K4842)
	終端				FB4982 (K4442)	FB45092 (K4442)	FB45532 (K4842)
3灯用	基本形	FB4633S (K4813SR)	FB4923SR (K4943SR)		FB4123 (K4423)	FB4913 (K4443)	FB45013 (K4443)
	連続取付け 先端				FB4963 (K4493)	FB45073 (K4443)	FB45513 (K4843)
	中間				FB4973 (K4493)	FB45083 (K4443)	FB45523 (K4843)
	終端				FB4983 (K4493)	FB45093 (K4443)	FB45533 (K4843)

全ケース ラピッドスタートタイプ ソケット隠蔽



生産年		1975年～			1985年～		
1灯用	基本形	FB4661S (K4811SR)	FB4951SR (K4941SR)		FB4421 (K4421)	FB4941 (K4441)	
2灯用	基本形	FB4662S (K4812SR)	FB4952SR (K4942SR)		FB4422 (K4422)	FB4942 (K4442)	
	ブルスイッチ付き				FB4932 (K4432)		
3灯用	基本形	FB4663S (K4813SR)	FB4953SR (K4943SR)		FB4423 (K4423)	FB4943 (K4443)	

※15年以上、または累積点灯時間が40，000時間以上であるものは劣化がすすんでいます。
事故防止のために新しい照明器具にお取り替えください。

検認
臼井
照査
諏訪
設計・改定
濱田

形名	ミニインバータ リニューアルユニット 形名一覧 2/3
図番	EY18064-B

0902 CA

単位 mm 第3角法

三菱電機照明株式会社

MITSUBISHI

⚠ 安全に関するご注意
●照明器具には寿命があります。 ●設置して8~10年経つと、外観に異常がなくても内部の劣化が進行しています。点検・交換をおすすめします。 ※使用条件は周囲温度30℃、1日10時間点灯、年間3000時間点灯。(JIS C 8105-1 解説による。) ●周囲温度が高い場合、点灯時間が長い場合は、寿命が短くなります。 ●1年に1回は、「安全チェックシート」により、自主点検してください。 ●3年に1回は、工事店等の専門家による点検をお受けください。 ●点検せずに長期間使い続けると、まれに、発煙、発火、感電などに至る恐れがあります。

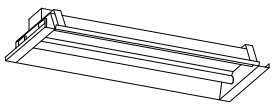
埋込ファインベース ソケット露出

生産年					1989年~	1992年~	
2灯用	基本形				FB4862	FB45122	
3灯用	基本形				FB4863	FB45123	

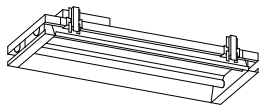
埋込ファインベース ソケット隠蔽

生産年					1989年~	1992年~	
2灯用	基本形				FB4202	FB45152	
3灯用	基本形					FB45153	

埋込ファインベース システム天井



竿タイプ



ボックスタイプ

生産年		1976年~	1979年~	1980年~	1989年~	1992年~	1995年~
2灯用	320ﾋﾟｯﾁ ﾎﾞｯｸｽ						SY4182
	330ﾋﾟｯﾁ 竿	SY4012T	SY40032TR				
	330ﾋﾟｯﾁ ﾎﾞｯｸｽ	SY4002T	SY4102TR	SY4112TR	SY4122	SY4142	
	330ﾋﾟｯﾁ ﾎﾞｯｸｽ リターン穴付					SY4152	
3灯用	320ﾋﾟｯﾁ ﾎﾞｯｸｽ						SY4183
	330ﾋﾟｯﾁ 竿			SY4033TR			
	330ﾋﾟｯﾁ ﾎﾞｯｸｽ			SY4113TR	SY4123	SY4143	
	330ﾋﾟｯﾁ ﾎﾞｯｸｽ リターン穴付					SY4153	

※15年以上、または累積点灯時間が40，000時間以上であるものは劣化がすすんでいます。
事故防止のために新しい照明器具にお取り替えください。

検認	形名	ミニインバータ リニューアルユニット 形名一覧 3/3
臼井	図番	EY18065-B
照査		
諏訪		
設計・改定		
濱田		

0902 CA

単位 mm 第 3 角 法

三菱電機照明株式会社

MITSUBISHI

⚠ 安全に関するご注意

- 照明器具には寿命があります。
- 設置して8～10年経つと、外観に異常がなくても内部の劣化が進行しています。点検・交換をおすすめします。
  ※使用条件は周囲温度30℃、1日10時間点灯、年間3000時間点灯。(JIS C 8105-1 解説による。)
- 周囲温度が高い場合、点灯時間が長い場合は、寿命が短くなります。
- 1年に1回は、「安全チェックシート」により、自主点検してください。
- 3年に1回は、工事店等の専門家による点検をお受けください。
- 点検せずに長期間使い続けると、まれに、発煙、発火、感電などに至る恐れがあります。

耐用年数の限りがあるにもかかわらず、案外見過ごされているのが現状です。10年を過ぎた照明器具は、外観だけでは判断できない器具の劣化が進んでいます。例えば、器具内の安定器が絶縁劣化によりまれに発煙事故に至る場合があります。安全性の面からも早めに点検と交換をご検討ください。

照明器具　安全チェックシート

施設用蛍光灯器具　安全チェックシート［施設用蛍光灯器具(防水形、防じん形を除く)用］

分類			安全点検項目	点検結果		処置手順
				該当する	該当しない	
使用状況・環境	使用期間	1	10年以上、または累積点灯時間が30,000時間以上である。			D
		2	15年以上、または累積点灯時間が40,000時間以上である。			A
	特殊環境	3	温度：照明器具周囲温度が35℃を超えている。			C
		4	雨水：照明器具に雨水がかかる。			C
		5	湿度：浴室など照明器具周辺の湿度が85%RHを超えている。			C
		6	粉じん：精糖工場など粉じんが多い。			C
		7	腐食性ガス：化学薬品工場、温泉など腐食性ガスが発生する。			C
		8	可燃性ガス：石油化学工場など可燃性ガスが発生する。			C
		9	風：軒下など照明器具が風の影響を受ける。(屋外用を除く)			C
		10	振動：工場など照明器具が振動の影響を受ける。			C
		11	油煙：鋳造工場など照明器具が油煙の影響を受ける。			C
	雷害	12	雷の影響で消灯、または点滅したことがある。			D
	グロースタータ	13	グロースタータの寿命時に長時間放置している、またはしたことがある。			D
照明器具本体・部品	灯体	1	清掃しても汚れが落ちない。			D
		2	点さび(点状のさび)、変色、ふくれ、またはひび割れが見られる。			D
		3	塗装面の塗膜剥離、または腐食が著しい。			A
		4	取付部に変形、ガタツキ、ゆるみなどがある。			B
		5	照明器具内部に浸水、または浸水跡がある。			C
	取付金具類	6	変色、さび、変形、破損などがある。			B
		7	照明器具が傾くなど、正常に取り付いていない。			B
	可動部分	8	可動部分(開閉箇所、調整箇所など)の動きが悪い。			B
		9	可動部分にさびが発生している。			B
	電線	10	硬化、または変色が見られる。			A
		11	ひび割れ、または心線露出が見られる。			A
	カバー	12	変形、または変色が見られる。			B
		13	破損、またはひび割れが見られる。			B
	ランプソケット端子台	14	接触(端子)部分に変色、またはさびがある。			B
		15	接触(端子)部分が黒くこげたようになっている。			A
		16	外郭材料に変色、ひび割れ、破損、こげ跡、熱変形などがある。			A
		17	ソケットの接触子、ばねなどが劣化している。または、可動部の動きが悪い。			B
		18	ランプの固定が悪く、ぐらついている。			B
	スイッチ類	19	誤動作したり、スイッチを入れても点灯しないものがある。			B
	コンデンサ	20	コンデンサケースに変形、ふくらみ、または油漏れがある。(安定器に付属するものを含む)			A

検認
臼井
照査
諏訪
設計・改定
濱田

施設用蛍光灯器具	
形名	安全チェックシート 1/2
図番	EY18066-B

0812 CA

単位　mm　　第　3　角　法

三菱電機照明株式会社

MITSUBISHI

分類			安全点検項目	点検結果		処置手順
				該当する	該当しない	
照明器具本体・部品	ねじ類	21	ねじなどに変色、さび、ひび割れ、破損などがある。			B
		22	ねじにゆるみがある。			D
	ﾊﾟｯｷﾝ,ﾌﾞｯｼﾝｸﾞ,振力止め,ﾗﾝﾌﾟｻﾎﾟｰﾄ	23	変色、硬化、またはひび割れが見られる。または、破損している。			B
	電気的特性	24	分岐回路の絶縁抵抗が0.2MΩ未満(150V超過)、または0.1MΩ未満(150V以下)である。			B
		25	照明器具単体(電源一括と非充電金属部間)の絶縁抵抗が30MΩ未満である。			A
	その他	26	こげくさい臭いがする。			A
		27	発煙、または油漏れ跡がある。			A
ランプ		1	ランプを交換しても正常に点灯しないものがある。			B
		2	ランプを交換しても点灯するまでに時間が長くかかるものがある。 (グロー点灯方式7秒以上、インバータ点灯方式3秒以上)			D
		3	ランプを交換しても他のランプより極端に暗いものがある。			D
		4	ランプの寿命が以前より短くなったり、黒化が早くなっている。			D
		5	短時間で点灯不能となる。			D
		6	指定外のランプを使用している。			B
安定器・インバータ	ケース	1	熱による変色が見られる。			B
		2	さびの発生が見られる。			B
		3	内部の充填物などが流出している。			B
		4	変形、または破損が見られる。			B
	その他	5	安定器単体(電源一括と非充電金属部間)の絶縁抵抗が30MΩ未満である。			B

具体的処理

処置手順	具体的処理	該当する個数
A	照明器具の劣化がすすみ、危険な状態になっています。 事故防止のためすぐに使用を中止し、新しい照明器具にお取り替えください。	(　　)個
B	部品の一部の劣化がすすみ、危険な状態になっています。 部品交換をしてください。(複数個ある場合は、新しい照明器具への取り替えをお勧めします)	(　　)個
C	照明器具が使用環境に適しておらず、危険な状態になっています。 事故防止のためすぐに使用を中止し、使用環境に適した照明器具にお取り替えください。	(　　)個
D	照明器具の一部の劣化がすすみ、危険な状態に至る可能性があります。 今後は1年に1度、安全チェックシート(詳細版)による点検を実施してください。	(　　)個

⚠ 安全に関するご注意

安定器寿命期においては、器具本体・器具内配線・ソケット等も劣化が進んでおり、安全面から器具毎交換を実施する必要があります。
省エネなどの目的でやむを得ず安定器のみ交換する場合は、照明器具の安全及び品質を維持する上で注意が必要です。
照明器具製造業者は器具(安定器内蔵)としてその性能を確認しており、販売後の改造(安定器交換など)については保証していません。
改造後の事故、不具合については改造・使用者側で対処していただきますようお願い致します。
販売後、使用者側で改造することに特に規制はありませんが、事前に充分検討を行い交換を実施する必要があります。

●3年に1度、専門家による安全チェックシート(詳細版)による点検を受けてください。
●点検結果の(該当する)の欄にチェック　　印がある場合は、処理手順に従ってください。

「安全チェックシート」を(一社)日本照明器具工業会のホームページよりダウンロードできます。
URL:http://jlma.or.jp/anzen/anzen_cs.htm

検認
諏訪
照査
山本
設計・改定
柾木

施設用蛍光灯器具	
形名	安全チェックシート 2/2
図番	EY18067-C

1308 CA

単位　mm　　第　3　角　法

三菱電機照明株式会社